



それでも開催？東京オリンピック

コロナ第4波緊急事態宣言発出

2021年5月中旬の今、日本ではCovid 19の変異株流行が激しい。5月14日に全国9都道府県に緊急事態宣言が発出され、そのほかにもマンボウ（蔓延防止等特別措置）がじゃんじゃん発出中だ。それも、5月14日の朝1時間かそこらの間に、政府が示していたマンボウ発出の方針があったという間に緊急事態宣言に変更された時は、その影響をもろにかぶる日本国民、特に庶民はびっくり仰天した。マンボウではなく緊急事態宣言の発出範囲が9都道府県に拡大されたことは、個人的には歓迎だ。コロナの蔓延がすさまじいから、国民に対してより強い行動制限を呼びかけることに躊躇する必要などないはずだ。しかし、マンボウで行く、と言っていた政府があったという間に方針を覆したことで自体を報道関係者は重く見たようだ。行うべき行動制限を思い切って導入したことをよしとするのではなく、1時間かそこらで前言撤回したことを取り上げ、こんな「朝令暮改」はなぜなのか、という質問が飛び交った。政府側の短時間での前言撤回を梃子にそれまでくすぶっていた政府への不信感が白日の下にさらされてしまった。

この状況で五輪開催「アリ」なのか

かく言う私も、この一年余り、常に後手後手に回っていた政府のコロナ対応策には冷たい視線を向ける一人だ。いつもおどおどしているように見える現総理は、時としてキレることがある。そんな姿を見せられていると、残念だけはこの人の言うことなら、ウソでも聞いておこう、従っていこう、という気持ちにはなれない。視線をプロンプターやらメモやらの上に小刻みにちらつかせ、ちょっとでも批判的な質問がでると、あからさまに不機嫌な表情を見せる。時にそれが昂じて「キレ」る。そういう時は三白眼が凄みをきかせてしまう。それを見せられてしまう国民には、総理が力づくで自分の権限を振りかざしていることが強く印象付けられる。残念ながら、総理って反シヤ系かしらとさえ思われてくる。その前の首相は息を吐くようにウソをつくといわれていた。昨今の政治家と呼ばれる人々の品格、資質の低下はひ

どいと思う。こんな政治家を「戴いた」日本国が、コロナ対応後手後手の混乱を招き、その混乱のさなかに東京五輪・パラリンピックを開催しようというのである。国民の一人としては、非常に不安である。首相がどんなに「安心・安全な大会」という言葉を繰り返したところで、それを裏付ける措置とか環境が整っているとはとても思えない。関係者がどんなに奮闘しているとしても、コロナワクチンの申込が虚偽のコードを使ってすり抜けられるようなシステムを構築しているような役所のやり方では、あちこち情報もウイルスも「ダダ洩れ」になっても何の不思議もない。五輪開催までは、もうあと百日もない。なんだか私たちは昭和前期戦争勃発直前の時代に逆戻りしているのではないかと不安に駆られてしまう。

第1回の東京オリンピックは、昭和15年開催予定だったが、結局開催できなかったという歴史がある。戦争のためだった。その戦争を経て第2回目は1964年、昭和39年に無事開催された。さらに約60年を経て、第3回目の五輪は2020年開催の予定であった。だが、2020年初めから世界に蔓延したCovid19パンデミックは、東京五輪開催予定を一蹴した。それでもIOCとJOCは、予定を1年延期して2021年開催を決めた。

しかし、2021年5月の日本におけるコロナ蔓延状況は、五輪延期を決めた2020年の5月に比べ、日本国内での蔓延状況は悪化している。頼みの綱のワクチン接種も、遅々として進まずだ。ワクチンの入手が間に合わないのが、7月初旬では最大の問題点になっている。これでは国民は不安になってしまう。7月初旬の今、感染者数はすでに相当な増加に転じた。またも蔓延防止措置とか非常事態宣言の可能性が見える。

※五輪開催目前の7月12日、5回目の緊急事態宣言が東京都と沖縄県に発出された。

東京五輪

東京五輪 中止

東京五輪 日程

東京五輪開催中止 署名

東京五輪テスト大会

東京五輪 不参加国

東京五輪 チケット

東京五輪 開会式

東京五輪 延期

東京五輪 サッカー

東京五輪 スポンサー

おもな内容

それでも開催？東京オリンピック……………1
散歩道・ワクチン接種と記録管理／拾い上げ収集……………2

DJIレポート No.125 20210720

消息／文献紹介／あしあと……………3
活動／巻末随想 毎日お便りその後、ほか……………4

【アーキビストの散歩道】

コロナワクチン接種をめぐる記録管理

LINE で「友だち」になっている市役所からのメッセージ 2 件を見ていただきたい。

5 月 25 日付ラインメッセージ 2 件

■ 1 ■ 18:54 【ワクチン最新情報！】<接種券(クーポン券)の発送状況>

高齢者の接種券は、年齢の高い方から段階的に発送しています。

本日、今年 77 歳になる方の接種券を発送しました。明日は、今年 76 歳になる方の接種券を発送する予定です。

予約には接種券が必要です。お待たせして申し訳ありませんが、もうしばらくお待ちくださるようお願いいたします。

■ 2 ■ 18:54 <自衛隊東京大規模接種センター>

5 月 31 日(月)から東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に居住する 65 歳以上の方(昭和 32 年 4 月 1 日以前に生まれた方)を対象とした予約受付が始まります。

自衛隊東京大規模接種センターでの接種を希望する方で、当市からの接種券が到着していない場合は、予約に必要な接種券番号をお伝えしますので、当市コロナワクチン専用コールセンターにお問い合わせください。大規模接種センターでの予約が取れた方は、あらためてご連絡ください。接種券を郵送いたします。

【自衛隊東京大規模接種センターについて(きらきら)】 / 【市コロナワクチン専用コールセンター(きらきら)】 / ▼電話 0570………… ▼FAX 略

■その後市役所から発表されたクーポン発送予定日

6 月 1 日 1947 年生れ / 6 月 2 日 1948 年生れ

6 月 3 日 1949 年生れ / 6 月 4 日 1950 年生れ

この予告記事は正確だった。公表された発送予定日通りに発送が行われたらしく、家族も私も、発送予定日翌日には私のクーポンは郵送配達された。

■接種には個別接種と大規模会場接種の 2 通り

ところで、この 5 月 25 日の 2 件のメッセージ

【アーキビストの散歩道】

■評価選別と「拾い上げ収集」

友人から久しぶりにメール着信。「業務で、他者に依頼されて資料整理をすることになった。整理対象の資料の中に、気になる本がある。どうしたものだろう。」という趣旨だった。友人に整理を頼んだ人は、不用品であるの処分を依頼したらいい。この場合、本来の所有者は所有権を放棄したと考えてよいだろう。

このような「所有権が放棄された資料」に関し、かつては第三者の自由裁量で資料の処分(不処分)をすることはフツウであった。1980 年代には、年度末に「廃棄物」として廊下の片隅に積み上げられた灰色文献などの山から目ぼしいものを選んで資料室へと運び込むのは、資料収集作業のひとつと考えられていた。私は、このような資料収集方法を「拾い上げ収集」と呼んだ。記録管理学会で、アーカイブ資料の収集方法には、制度的移管だけでなく、拾い上げ収集という方法もあることを発表した

をみて初めて分かったことがあった。それは、接種には個別接種と大規模会場接種の 2 通りがあるということだ。「ワクチン接種始まる！」という報道では、もっぱら大規模接種会場でのワクチン接種予約の混乱と困難を報じていた。その多くは電話もインターネットもつながらなくて大混乱、という話だった。年配の接種希望者がつながらず電話、インターネットの申込画面と格闘している様子が次々報じられ、私は「これは大変」と恐れをなしていた。だが、後から分かったのだが、接種を受けるには、接種会場に出向かなければならないのかということもそうでもなかった。実はもう一つの方法があった。接種希望者の住所の近隣のクリニック等で個別接種をうける方法である。

大規模接種会場でのワクチン接種と、近隣クリニック等での個別接種とは、ワクチン接種としては同じであると

大規模接種会場での接種を希望する人はそちらに申し込みをしなければならない。近隣クリニック等での接種を希望する人は、個別のクリニック等に自分で接種を申し込む。どちらもクーポンが必要。二重申し込みをしようと思えばできるらしい。だから、2 か所以上に申し込むのはやめてくれ、重複申込をした人は、自分で片方取り消すように、という記事が出ている。

■ワクチン接種申込の仕組みはどうなっているの？

これを見ると、現在の仕組みでは各人が 2 か所以上に接種の申込をすることが可能であるということがわかる。裏返せば、接種の重複申込が起きないようにする仕組みがないということになる。このような、個人の善意誠意を前提とした仕組みを構築したのは、だれだろう。私たちは誰もが善意誠意の人々であると、政府行政が思い込んでいるのだろう。政治は善意誠意の国民を踏みつけにして、胡坐をかいている。こうして政治は国民を欺くのだ。もう税金など払わないゾ！(ち)

のは、多分 1990 年ごろだったと記憶する。文書館や資料保存実務者の間に普及していた「拾い上げ収集」という名称や方法について、「実際にそんなことをしているのか？」と質問された先輩のことばに、こちらのほうが驚いてしまったのは、忘れがたい思い出だ。

やがて、情報公開制度が成立し、これに伴い所有権を放棄した公文書や灰色文献の物理的取扱いが厳格化されたのは 20 世紀末のことであった。それまでの、拾い上げ収集は当然、とする資料保存現場の担当者の感覚は情報公開制度の普及につれて変化した。制度的資料収集の必要性は、情報公開制度が一般社会に浸透につれて理解が深まった。21 世紀に入り、公文書管理法が整備され、公文書や印刷物の廃棄方法についても、社会的関心が集まるようになった。その結果、制度的裏付けなしの「拾い上げ収集」は肩身が狭くなった。(ち)

◆◆◆アーキビストの消息(順不同)◆◆◆【凡例:●個人■機関】

- 前田一男氏 3月31日立教大学定年退職🌱7月名誉教授。
- 下田 尊久 氏 藤女子大学特任准教授退職🌱1993年藤女子大学図書館主事、2001年同図書館情報学課程設置により英語文化学科所属教員で2015年定年まで、その後嘱託、特任を歴任。前職、前々職と合計41年大学に在職した。
- 国立公文書館認証アーキビストの資格取得に向けた大学院 2021年～スタート
 - 昭和女子大学大学院アーカイブズコース
 - 島根大学アーカイブズコース
 - 大阪大学大学院アーカイブズコース
 - 学習院大学大学院アーカイブズ学専攻

訃報

●青山 英幸 氏 2月逝去、享年72。札幌・厚別中央 2・4/葬儀終了 2021年3月5日掲載分 お悔やみ情報 | 北海道お悔やみ情報 (hokkaidookuyami.net) (2021-05-18 確認) 他による。著書に『電子環境におけるアーカイブズとレコード—その

の理論への手引き』『アーカイブズとアーカイバル・サイエンス—歴史的背景と課題』『記録史料の管理と文書館』「記録から記録史料へ—アーカイバル・コントロール論序説」他多数。アーカイバル・コントロールという表現は彼の特色。40年余の知己が逝った。英リバプール大学クック教授から「日本のアーカイブ分野に新たな一頁を開いたヒデユキの冥福を」とメール。合掌。

●長尾 真 氏 5月23日脳梗塞のため逝去、享年84。京都大学名誉教授、京都大学の学長や国立大学協会会長、国立国会図書館長など歴任。AI=人工知能の基礎となる分野の発展に貢献した。(京大名誉教授 長尾真さん死去 84歳 機械翻訳システムなど開発 | おくやみ | NHK ニュース 2021-05-27 確認)

訂正 (No.124 既報)

●新井浩文氏 4月1日 埼玉県立文書館 主席学芸主幹

☆本コーナーへの皆様のご協力に心からお礼申し上げます。(ち)

●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼

●渡邊佳子『近代日本の統治機構とアーカイブズ 文書管理の変遷を踏まえて』これ、通読するというよりは、事典として座右に備え、必要な情報とその背景を解き明かす一冊だと思ふ。丹念な調査と文献の読み込みが土台となり、かつては埃まみれに見えていた近代日本の統治機構が文書管理という仕組みのありようをたどることで骨組みを明らかにし、その変遷を辿れるようにしたのが本書の特色だ。著者渡邊氏が積み上げられた知見と、これを「本」として世に出され

た出版社樹村房の見識と尽力に敬意を表する。

▼カレントアウェアネス-E No.413 2021.05.27
興味をひかれたもの2件。いずれも Web 公開済。

■E2385■ 米国 NARA でのトランプ前大統領のツイート等の保存について 天理大学人間学部・古賀崇 <https://current.ndl.go.jp/e2385>

■E2386■ ラウンドテーブル「デジタル公共文書を考える」 <報告> 慶應義塾大学文学部・福島幸宏 <https://current.ndl.go.jp/e2386> (ち)

●千代子のあしあと●◆▼●◆ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

▼DJIレポート No.125 20210720 2021年7月20日 up, 4p. PDF 国際資料研究所 www.djichiiyoko.com

■またいとこのブログ 放談 Tomoko&Chiyoko フランス在住のまたいとこ Tomoko とともに、時々話題を取り上げ「放談」のキャッチボールをするブログ。 <https://mataitoko.blogspot.com/> 5月23日「それでも開催?東京オリンピック」、6月30日「COVID19 ワクチン接種を終えて」

■毎日一枚お便りを 2021年4月から、毎日1枚お便りを認めている。6月30日現在で50枚を投函済。

◆モリカケサクラ、国連の公文書管理と比較する 『東京雑学大学紙上講義—』5月講演が休講となったので、紙上講義に切り替えた。コロナの影響。

■『東京大学文書館紀要』(前身タイトル『東京大学史紀要』含む)および『東京大学文書館ニュース』(前身タイトル『東京大学史史料室ニュース』含む)に掲載された拙稿が、東京大学学術機関リポジトリにも登録されると7月1日付、東京大学文書館長名の事務連絡を得た。登録対象は既に東大文書館ウェブサイトで公開中(下表)。1983~87の足跡、懐しい。

記事題目	掲載誌名	号数	刊行年月
SAAと大学アーカイブズについて	東京大学史紀要	4	1983.7.
百年史編集室のレファレンス記録	東京大学史紀要	5	1986.2.
編集後記	東京大学史紀要	5	1986.2.
もうひとつの「百年史」	東京大学史紀要	6	1987.3.
百年史編集と史料収集-室長土田直鎮先生の「アーカイブ構築」への思い-	東京大学史史料室ニュース	50	2013.3.31

記録管理学会 2021 年度記録管理業務功労賞は小川に



国際資料研究所代表の小川千代子は、去る5月29日開催の記録管理学会総会(オンライン)席上、記録管理業務功労賞を受賞した。小川としては、この表彰楯の文言に自分の専門的人生経験が端的にまとめられていることが大変うれしく、誇らしい。菅会長はじめ記録管理学会の皆さまか

らのご厚情には心底感謝申し上げる所存である。コロナ禍の下ながら、関係の皆さまの益々のご健勝ご多幸を祈りつつ、心からのお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。(ち)

Chiyoko Ogawa CA of Documenting Japan International received the Records Management Business Achievement Award at the General Assembly of the Records Management Society (online) held on May 29, 2021 for her long-standing contribution together with her professional carrier for the past almost half a century.

<出講>

6月5日 中央大学アーカイブ論 オンライン

<執筆>

[またいとこのブログ \(mataitoko.blogspot.com\)](http://mataitoko.blogspot.com)

5月16日 それでも開催？東京オリンピック

6月30日 ワクチン接種のしくみ 日本の場合

7月10日

東京雑学大学学報 紙上講義「モリカケサクラ、国連の公文書管理と比較する」

<主催>

5月3日 小川一家湘南辻堂 BBQ 6人集合

<参加>

5月17日 デジタルアーカイブサロン on line

5月22日 東海岸3丁目町内会福寿会(敬老会)/役員会(6月24日も)/防災倉庫棚卸、対面

5月28日 14:00～16:00 デジタル関連法:自治体の個人情報保護の仕組みはどう変わるのか?お話は三木由希子氏(情報公開クリアリングハウス理事長) on line

5月29,30日 記録管理学会総会、研究大会 on line

6月3日 UNHCR アーカイブ課長らと海外アーカイ

■ 巻末随想

◆ 毎日1枚お便りを…その後

4月1日から始めた一日1通のお手紙書きは、これまでに50通以上投函。普段はボールペンを使うのに、この時ばかりは万年筆とインクを使ってお手紙を書く。今日の宛先の方を思い浮かべ、お手紙で久しぶりの旧交を温めるつもりで文面を綴る。これまでに何人もの方から返事をいただいた。お手紙の返事をいただくと、とても幸せな気持ちになる。大昔の文通を思い出し、心が元気になるようだ。お返事はメールも含めて約20通。コロナ禍のもとでも、エッセンシャルワーカーの皆様のおかげで郵便システムは健在。そして、ずっと形式的になっていた友人とのやり取りに血を通わせることができたようだ。これからも、7月8月は暑中お見舞、残暑お見舞いのお便りを出そうかと思案中。

◆ 庭のつるバラ

数年前に、いつも通りかかる生垣の中に咲き誇るつるバラの花を見つけた。シュールベルトの野ばらを思い浮かべ、できればウチの庭でもこの花が咲いてくれるといいな、と思った。翌日同じ場所を通りかかったら、あの咲き誇っていたつるバラの枝は無残にも足元で踏みしだかれていた。それでも、バラの花は咲いていた。そこで、踏みしだかれていた枝の救出(レスキュー!)をはかった。ハサミを持参して、地面に這いつくばらされているバラの花のついた小枝を切って、家に持ち帰ったのである。小枝は水切りして活けて、少し元気になったところで、庭先に挿し木してみた。その後も、小枝は何とか生き延びて、次の年には新芽を吹いていた。その次のとしは、つるを伸ばして、少し勢力伸長していた。…で、2020年春には、ついにつぼみをたくさんつけて、5月にはそれが一斉に

ブボランティアの会メンバーの顔合わせ、zoom 緒方アーカイブについて

6月8日 全史料協総会 オンライン

6月10日 アンドルー・ゴードン講演会 オンライン

6月12日 オンライン・ミートアップ「オープンソース・システム AtoM を使おう」立教大学立教大学共生社会研究センター

6月16日、7月13日 サキさんと Zoom ミーティング

6月23日 寒川文書館公文書資料の整理方針打合せ 寒川文書館

7月16日 全史料協関東部会研究例会 on line

<その他>

5月3,10,17,24日、6月7,14,21,28日、7月12,19日

ルーマニア語のお稽古 on line”ブナ・ジウ!チェファチ?”

5月27日 6月17日 新型コロナウイルスワクチン接種辻堂金沢内科クリニック、藤沢

5月29日 記録管理業務奨励賞受賞、記録管理学会総会、on line

7月5日 名古屋城本丸御殿、金のシャチホコ展見学

開花した。見事なバラの花が咲いた。今年2021年は、どうかな。。。と思っていたら、ちゃんとつぼみが出てきた。去年よりは少し遅いようだし、つぼみの数も少ないようだけど、つるバラはしっかりとつぼみをつけ、5月18日にはついに最初の一輪が開花した。散歩のときに見に行ったら、あの生垣でも、ご本家つるバラさんのお花が咲き始めていた。我が家のつるバラ、頑張れ!

■ あちこち痛い

近頃あちこち痛い。1985年に100歳で亡くなった祖母が、80歳を超えたころに「まあ、八十になってみなさい」といっていた。なにを言っているのだろう?20歳の私は、八十になると、年老いて、いろいろ不都合があるのかとは思ったが、祖母が抱える具体的な問題点を推測するほどの力はなかった。自分が八十になるのはまだまだ先の話だと聞き流していた。

そんな冷淡な対応をしていた私自身もついに今年6度目の年女になった。そのせいか、20年も前から不調が出ていた右手の小指が曲がってしまった。手を握れない。グーのつもりで手を握っても、小指だけがツンと前に出てしまう。その不具合が、痛みを伴う。それだけではない。小指というのは、手にモノを持った時のバランスを司っていることも、不具合が顕著になるにつれて明らかになってきた。ペンを持って字を書こうとすると、その筆跡が本人の期待と違ってしまふ。いわゆる「老筆」になる。曲線、直線がそれぞれ微妙にずれたりふれたりする。口惜しいことに、これはどうにも制御できない。ほかにも関節という関節がどれもシミシミと冷たく痛かったり、伸ばすとバキバキと音をたてる。その度に祖母の「まあ八十になってみなさい」が思い出される。(ち)